

# 新入荷商品のご紹介

## 笠仙ゆかた 紅梅小紋

白と紺のシンプルな組み合わせは日本人にとって最も馴染みのある色合いです、夏のお出掛けをクールにコーディネート。

73700円



## ←笠仙ゆかた型絵染 紅梅小紋

サラリとした綿紅梅の生地に夏に合うスッキリとした単色の染め上がりの紅梅小紋に、所々に小さな刷毛で色差しをしています。青に赤の色がアクセントになっています。

82500円

笠仙  
綿紅梅特集

twitter、facebook、  
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや  
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！  
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。  
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。  
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

# きもの新聞 2020年7月号

## ごあいさつ

いよいよ暑い日が増えてきて、本格的な夏の到来です。先日、2か月間お休みしていた竹次郎カフェを徐々に営業し、多くのお客様が来店していただけるありがたさを実感いたしました。7月8日と益々暑くなっていきますが、是非竹次郎のかき氷を食べに来て下さい。



8月の連休 8月4日(火)・5日(水)

8月10日(月)・11日(火)・12日(水)

## 特集 笠仙高級浴衣の魅力



笠仙の創業は江戸末期の天保年間(1842年)に江戸随一の歓楽街浅草に創業。『笠仙』の屋号は創業者の仙之助が背が低く「ちんちくりんの仙之助」と呼ばれていたことが由来で、それを縮めて『笠仙』と命名されたのは歌舞伎役者の市川左團次さんだそうです。もともとは湯上りに着る浴衣で表に出るようになると笠仙は柄を入れるようになります。そのゆかたを歌舞伎役者などが愛用し、彼らの感性を取り入れて柄を染めるようになると、『かっこいい』と庶民に広まっていきました。このように笠仙の浴衣は、文化人や歌舞伎役者などに愛され、庶民に広まっていきますが、決して一過性の流行に流されるわけではなく、庶民の要望や反応を受け研ぎ澄まされ蓄積されたデザインが今日に伝わっています。

### 【紅梅小紋】

格子状に太い糸を織り込んだ綿生地に、伝統的な染方の一つである『引き染め』で、江戸の頃より伝わる中形の柄を染め上げています。格子状に織り込んだ糸によりサラリとしたシャリ感のある、涼やかな浴衣地です。

### 【松煙染め小紋】

樹脂分の多い松の根を燻した媒を松煙を膠(にかわ)で練り、豆汁に溶いて染めたものが松煙染めといえます。「引き染め」による松煙染めに手差しで、彩色をほどこしています。きめの細かい生地風と節感のある手触りが特徴です。

### 【奥州小紋】

型置き・染めは小紋染め同様、和紙を使い彫りあげた昔ながらの型を使用しております。経糸で縀を織り出した、手織り紡ぎのような独特の風合いの綿生地に、糊置きをした後、色合いを鮮明にする為、「引き染め」で、江戸の頃より伝わる中形の柄を染め上げています。差し色はすべて手差しで行い画一化されない味わいを出しております。